

ネイチャーセンターだより



2007/4



タンチョウ

英名：Red-crowned Crane 学名：*Grus japonensis*

冬は鶴居村や阿寒町の給餌場で過ごしていたタンチョウたちが、氷のとけた風蓮湖や春国岱に戻ってきました。保護のかがあって数は増えているので、根室では見かける機会が多い鳥ですが、繁殖する湿地は減っているため、まだ絶滅の危機から脱したわけではありません。これから巣を作り、子育てをしますが、大雨や天敵など危険がいっぱいです。遠くから見守ってください。

4月のイベント

タンチョウイラスト展 4月6日(金)～23日(月)

釧路・根室管内の小中学生が思い思いにえがいたタンチョウのイラストを展示します。期間中の開館している時にご自由にご覧いただけます。力作の数々をどうぞご覧下さい。

早起きバードウォッチング 5月13日(日) 5:30～8:00

5月、夜明け頃の森や草原では、早起きな小鳥達がいそがしそうに飛び回っています。鳥と共にはじまる一日を迎えてみませんか？ 協力 日本野鳥の会 根室支部

- ・対象：小学3年生以上20名（小学生は保護者同伴といたします）
- ・申込：5月6日（日）まで
- ・費用：1000円/1人（保険・資料代として）



ミソザイ



シジュウカラ

お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで（0153-25-3047）

ネイチャーセンターの

風電湖・春国岱フー
「ワシたち」ワシ

オワシ・オジロワシ、世界的にも北極圏に生息している。その北極圏で越冬するものは2000種以上、北極圏に分布している。北極圏から渡来する個体を含め、日本にも根室から釧路にかけての釧路川流域に渡来するワシが増えています。ワシの救助活動を通じて、ワシの生態や繁殖の様子や映像で紹介

ワシの死因として、鉛中毒死、感電死、列車や風車の衝突による死、汚染物質による問題。サハラ砂漠の大規模な砂嵐による環境悪化などがあるという。『ワシの衝突』最近クリーンエネルギーが増えている風力発電ですが、風車の衝突による死

ネイチャー

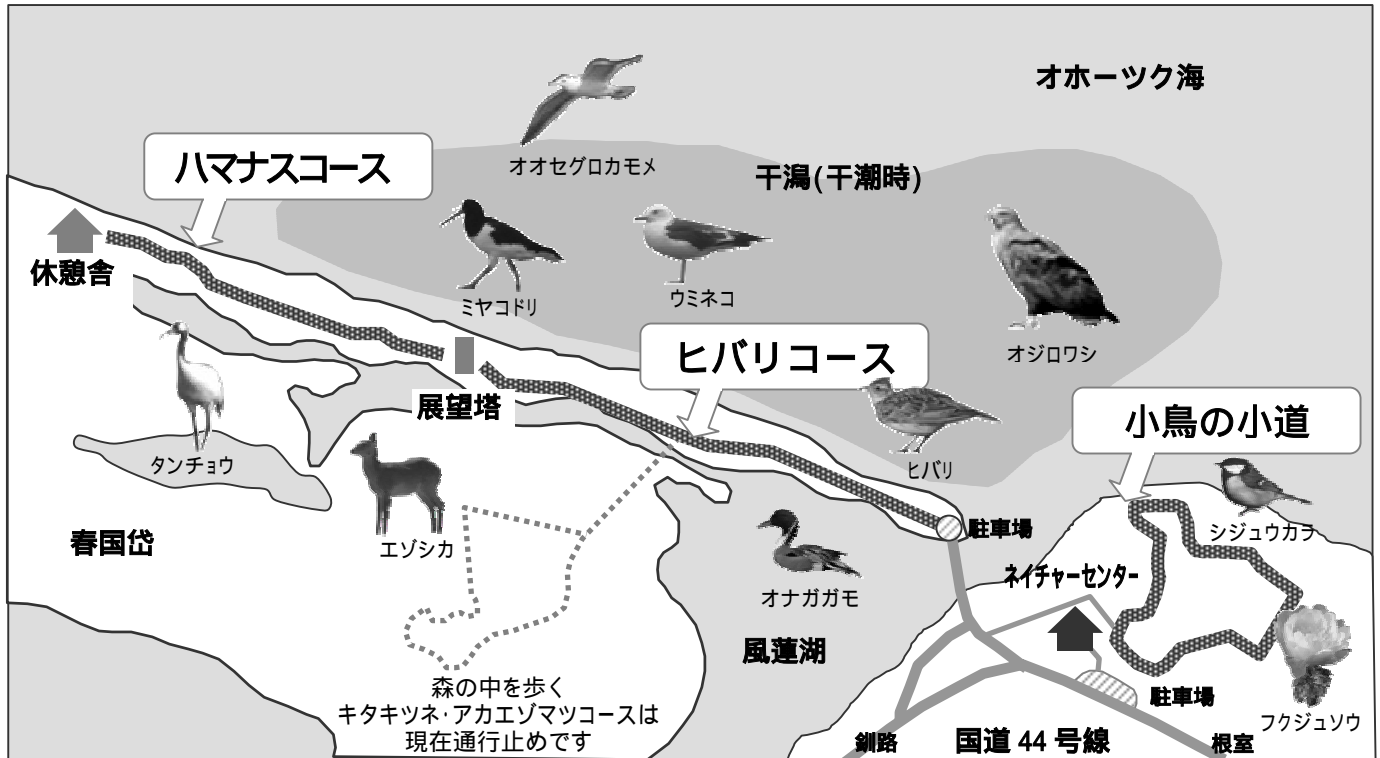
オワシ・オジロワシ ワシ 調査 2 / 11、18、25

あなたもワシを救助したいですか？ ~フィールドボランティア募集~

フィールドボランティア募集していませんか？ ネイチャーセンターでは、ボランティア募集して活動している方、あるいはネイチャーセンターのレンジアップ活動や、様々な活動をしている方、事前に電話で連絡をお願いします。

4月の自然情報

春国岱の森の中に行く、キタキツネ・アカエゾマツコースは現在通行止めです。
浜辺に行く、ヒバリ・ハマナスコースとネイチャーセンター横の小鳥の小道を散策してください。
センターでは、双眼鏡の無料貸し出しをしていますので、お気軽にご利用ください。



【ヒバリコース：春国岱の駐車場から展望塔まで。1.2km/約25分】

コースの名称のとおり、ヒバリがやってきて、あちこちからさえずる声が聞こえてきます。地面で鳴いたり、上空を飛びながらにぎやかに鳴く姿も見られます。木道の上にはカラスが落とした貝が落ちていることも。

【ハマナスコース：展望塔から休憩舎まで。1.4km/約30分】

湿地にはタンチョウが、草原にはオオジュリンやノビタキなどの夏の小鳥が戻ってきます。エゾシカも多く見られます。

【小鳥の小道：センター横の自然学習林1周。1.4km/約30分】

夏鳥のアオジやウグイスが戻ってきます。ミソサザイやシジュウカラなどとともにさえずる声が聞こえて、林の中がにぎやかになります。まだ木の葉が無いので、姿も見つけやすいです。足元を見ると、フクジュソウに続いてエゾエンゴサクやキバナノアマナ、ザゼンソウ、ミズバショウなどの花々が開花します。下旬になると、池にはエゾアカガエルやエゾサンショウウオの卵が産みつけられます。

【風蓮湖】

オナガガモやヒドリガモなどのカモの仲間が北へ帰る途中に風蓮湖で羽を休めていきます。タンチョウも戻ってきて、姿をよく見かけられるようになります。

【オホーツク海】

潮が引き、干潟が出るとたくさんのオオセグロカモメやウミネコが見られます。カモメやカラスが上空から貝を落として割る行動が観察されることもあります。また、オジロワシやタンチョウ、ミヤコドリが干潟に餌を探しにやって来ます。浜辺にはミユビシギやコチドリなどのシギ・チドリ類がちょこちょこ歩き回るのが見られるようになります。



ネイチャーセンター日記

春は出会いと別れの季節です。ネイチャーセンターも異動があり、根室市農林課自然保護係には長山係長が、そして新しいレンジャー2名が春国岱にやってきました。皆様、どうぞよろしくお願いたします。

4月9日から根室市春国岱原生野鳥公園のレンジャーになりました手嶋洋子(てしまようこ)です。この前は豊田市自然観察の森(愛知県)、その前は東京港野鳥公園(東京都)でレンジャーをしていました。久しぶりに干潟のある環境が職場で、今からとても楽しみにしています。北海道に住むのは初めてなので、いろいろな驚きがあるのでは!?と今から期待に胸をふくらませています。ここはオススメ!というみなさんのポイントをぜひ教えてください。

このたび、新しく春国岱ネイチャーセンターで働くことになりました富岡優子(とみおかゆうこ)です。出身は神奈川の藤沢というところで、大学を卒業するまで地元で暮らしていました。大学では森林生態学を専攻していて、森林の機能や植生について勉強していました。大学卒業後は、愛知県豊田市にあります豊田市自然観察の森というところで1年間働いていました。北海道には学生時代にボランティアで何回か来ており、特に道東の自然が好きだったので鶴居や霧多布などによく来ていました。ですので、今回根室に来ることができて、これからがとても楽しみです。根室のことは知らないこともいっぱいあるので、どうぞよろしくお願いたします。

メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp

また、ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもPDF形式で公開しています。

ホームページ: http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1~2時間 / 10~20名)

自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。

などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等にらせていただきます。

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

4月の開館時間

9:00~17:00

4月の休館日

4・11・18・25(毎週水曜日)

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

2007.4 発行